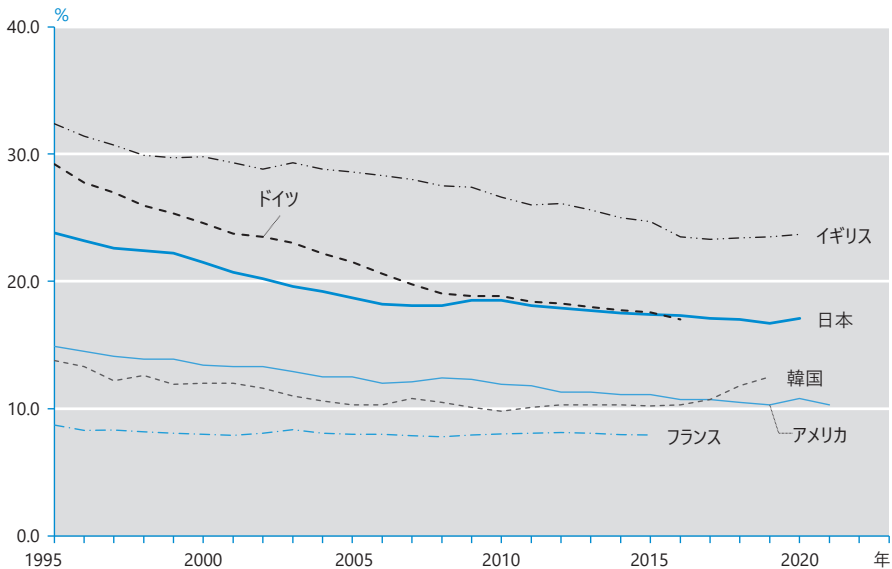


## 7-1 労働組合組織率の推移



[関連表](#) p.245 「第7-1表 労働組合員数・組織率（各国公式統計）」

主要国の労働組合組織率の変化をみると、ほとんどの国で過去20年余りにわたって低下傾向にある。相対的に組織率の高い国ほど、急速な低下を経験しており、例えばイギリスでは、1995年の32.4%から2020年には23.7%と8.7ポイント低下、またわが国でも、同じ期間に23.8%から17.1%へと6.7ポイント低下している。さらにドイツでは、1995年から2016年までに組織率が4割以上減少（12.2ポイント低下）して17.0%となっている。

なお、韓国ではここ数年、他の各国とは対照的に、組織率が上昇に転じている。これは、労働組合員数の増加率が就業者数のそれを上回っていることによる。